

施工説明書

【防火タイプ】大臣認定番号:QF045RS-0204

防火対応 軒天換気材 軒ゼロタイプ

FV-N024F-L18 / FV-N024F-L27

この度は、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
正しく据え付けていただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

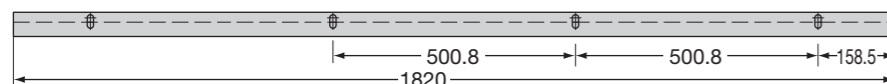
●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

⚠ 注意

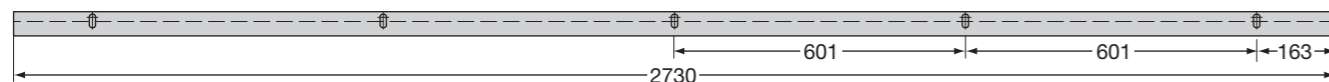
⊘	この記号は、禁止の行為を示しています。
!	この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
⊘	本製品に塗装しないでください。塗装を施した場合は大臣認定対象外となる可能性があります。 本製品は軒天以外の場所へ使用しないでください。 沿岸地域(塩害の恐れのある地域)および濃霧多発地域、また、その他に錆を誘発する環境下へのご使用は避けてください。 本製品の分解・改造等を行わないでください。 本製品の立て置きでの保管は避けて下さい。小口を傷める恐れがあります。 本製品を梱包ケースの小口から引き抜かないでください。製品に傷が付く場合があります。
!	建築基準法並びに関係規則規定等に適合しているかご確認の上、ご使用ください。 大臣認定番号を使用する場合は、認定書の別添に従った材料の選定と施工をしてください。 本製品の取り付けは、必ず付属の取付ビスをご使用ください。 防水紙を桁の上端まで確実に施工するなど、躯体側やその他水掛かりに注意が必要な部材には防水措置を確実に行ってください。 銅・鉛など異種金属との接触・接合は、電食が起こる場合がありますので注意してください。また、銅・鉛などを含有した薬剤処理物(銅系防蟻処理木材など)との接触も同様に注意してください。 鉄粉・モルタルなどの異物接触により、表面に変色や錆が生じる場合がありますので注意してください。 給湯器等の燃焼ガスの接触により塗膜剥離が起こる恐れがありますのでご注意ください。 本製品は金属製のため、手等を切る恐れがありますので十分注意してご使用ください。 本製品を切断した場合、切断小口を整えてください。 塗装面と比較して錆びやすい小口部分は、必要に応じて専用補修塗料(スプレータイプ)を塗るなどの処理をおすすめします。 本製品の保管は、雨雪等のかからない屋内で平積みにて行ってください。 専用補修塗料(スプレータイプ)を準備しております。ご用命の際は最寄りの営業所へご連絡ください。

製品図

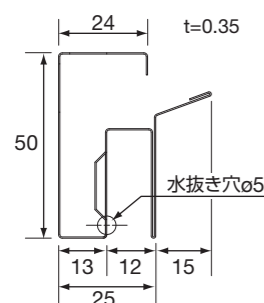
FV-N024F-L18



FV-N024F-L27



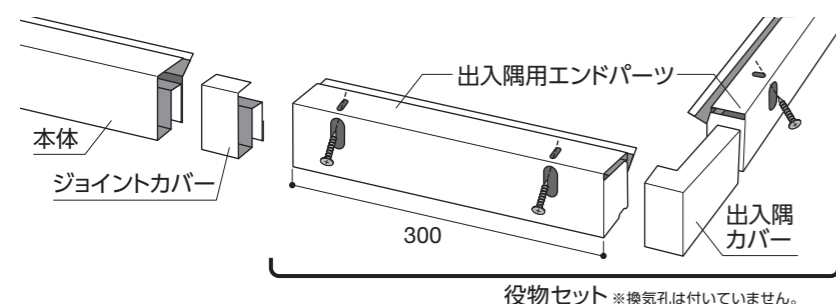
●断面図



品番	FV-N024F-L18		FV-N024F-L27	
タイプ	軒ゼロタイプ			
色型番	WT	AG	CB	BK
長さ	1,820mm		2,730mm	
材質	カラーGL鋼板*(高耐食仕様、厚さ:0.35mm)			
梱包	6本/ケース			
付属品	取付ビス 6本入袋×6袋/ケース			

*JIS G3322

●役物(別売品)



役物セット ※換気孔は付いていません。

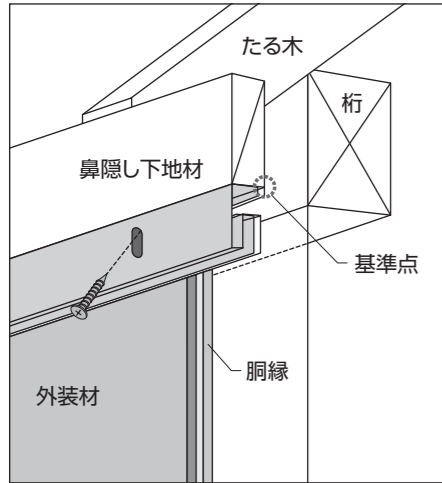
	タイプ	品番
水平軒用役物		
出隅	水平軒用	FV-N024FSD
入隅		FV-N024FSI
勾配軒(勾配屋根)用役物		
出隅	1~4寸 勾配用	上・右 FV-N024FSD-14UR
		上・左 FV-N024FSD-14UL
		下・右 FV-N024FSD-14DR
	4~6寸 勾配用	下・左 FV-N024FSD-14DL
		上・右 FV-N024FSD-46UR
		上・左 FV-N024FSD-46UL
12.5寸 勾配用	下・右 FV-N024FSD-46DR	
	下・左 FV-N024FSD-46DL	
	下・右 FV-N024FSD-K12DR	
入隅	1~4寸 勾配用	下・左 FV-N024FSD-K12DL
		下・右 FV-N024FSI-14DR
		下・左 FV-N024FSI-14DL
	4~6寸 勾配用	下・右 FV-N024FSI-46DR
		下・左 FV-N024FSI-46DL
		下・右 FV-N024FSI-46DL
エンドパーツ	端部・入隅上・妻面用	FV-N024FEP
ジョイントカバー	共通	FV-N024FJC

⚠ 注意

防火対応 軒天換気材 軒ゼロタイプ[FV-N024F-L18、FV-N024F-L27]は屋根の形状によって使用する役物が異なります。正しい納まりのために、規定の役物をご使用ください。くわしくは『防火対応 軒天換気材 軒ゼロタイプ 設計積算の手引き』をご参照ください。

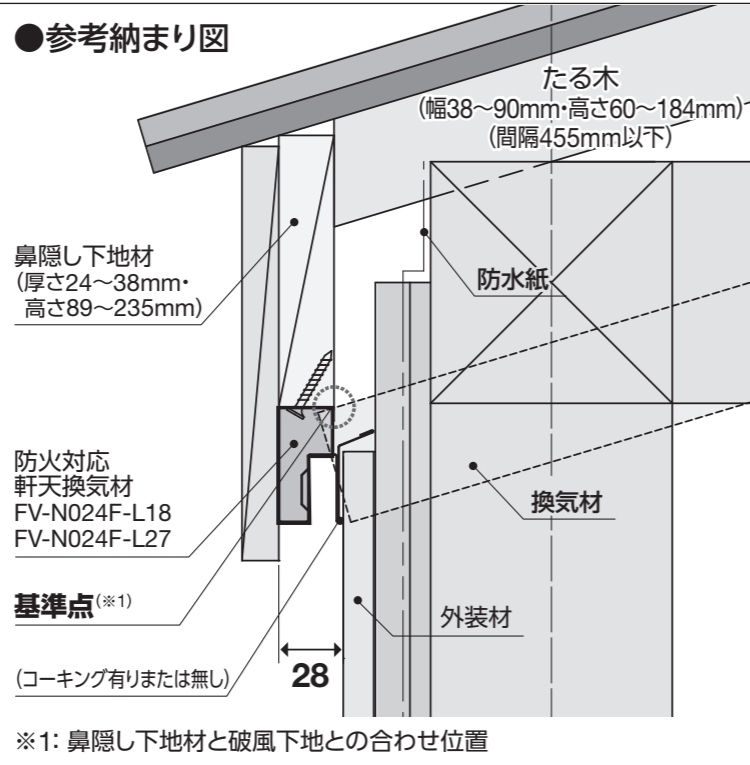
施工手順

1 下地の確認



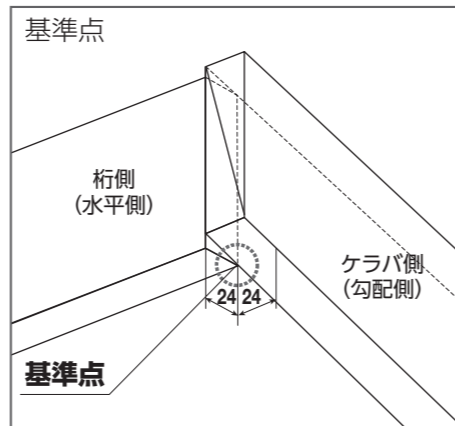
●軒天面材なしの納まりなので、躯体寸法が外装面の仕上面から鼻隠し下地材外面までの寸法が**28mm**であることを確認してください。

●参考納まり図



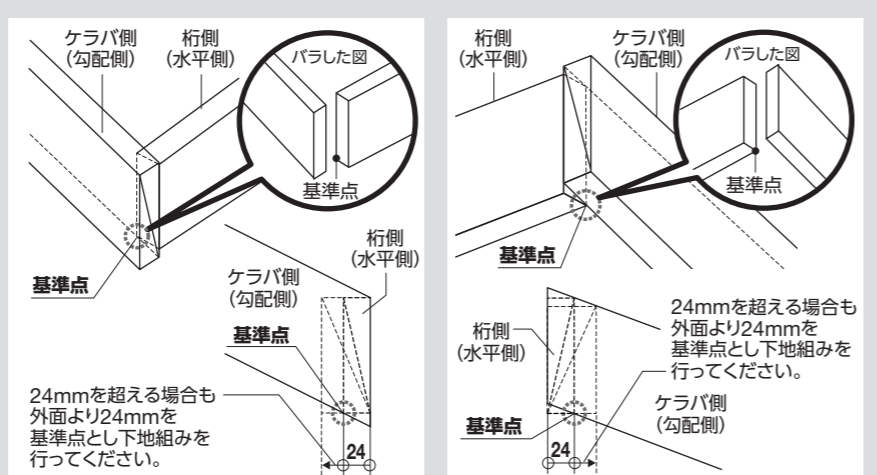
※1: 鼻隠し下地材と破風下地との合わせ位置

- 鼻隠し下地材は、日本農林規格(JAS)に適合する針葉樹の下地用製材または下地用集成材で、幅24~38mm、高さ89~235mmの木材を使用し、**水平軒の場合は下端を揃え、勾配軒の場合は右図および下記注意を参考に、基準点を合わせて施工してください。**
- たる木は、日本農林規格(JAS)に適合する針葉樹の下地用製材または下地用集成材で、幅38~90mm、高さ60~184mm、取付間隔455mm以下としてください。
- 鼻隠し下地材はしっかりと固定されているか、下地材が割れていないか確認してください。
- 鼻隠し下地材が十分乾燥しているか、確認してください。
- 躯体側の防水措置は、桁の上端、ケラバ側の場合は軒天換気材上端以上まで確実に行ってください。



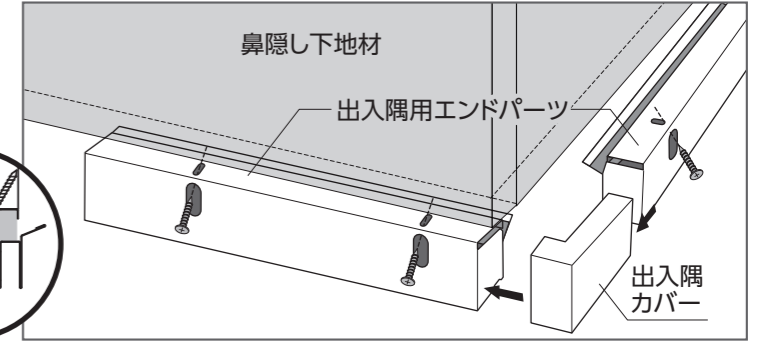
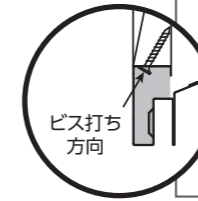
△注意

- 鼻隠し下地材の合わせ位置は、図の**基準点の位置としてください。25~38mmの場合は、外面から24mmの位置を基準点として施工してください。**
- 鼻隠し下地材は、勾配側優先にて納めてください。



2 専用役物の取り付け

- 下地確認後、右図および専用役物の梱包に記載の方法にて製品を組み立て、付属の取付ビスを使用し、締めすぎに注意し、鼻隠し下地材に対し概ね60度方向に留め付けます。
- 本製品には必ず専用役物(出隅・入隅またはエンドパーツ)をご使用ください。



△注意

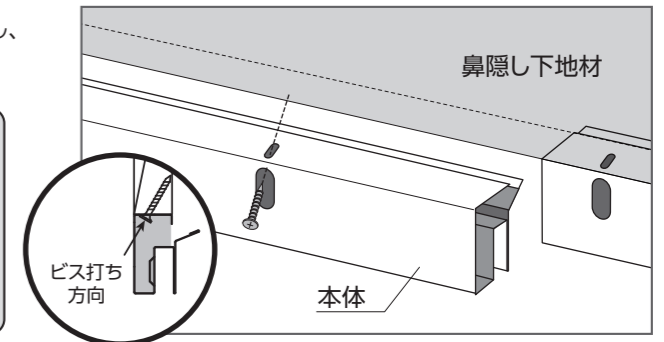
- ①専用役物には換気孔が付いていません(片側300mm)。換気量設定時には十分ご注意ください。
- ②勾配対応役物は水下側から水上側を見て、勾配面がある側を品名としています。お間違いのないよう、ご注意ください。
- ③勾配対応役物には、対応する勾配(1~4寸・4~6寸・12.5寸)、水上・水下側、および左右があるのでご注意ください。
- ④出隅・入隅に同梱の出入隅用エンドパーツおよびエンドパーツは、端部の開いた側を軒天換気材に向けて、ジョイントカバーで接続してください。
- ⑤入隅の水上側、切妻屋根の棟部には、エンドパーツ「品番:FV-N024FEP」を使用してください。
- ⑥専用役物の取り付けは鼻隠し下地材正面から留め付けとなるため、必ず軒天換気材の取り付け前、かつ外壁・鼻隠し化粧板施工前に完了するようにしてください。
- ⑦役物と軒天換気材のジョイント部には、ジョイントカバーを使用してください。
- ⑧出隅・入隅に同梱の出入隅用エンドパーツとエンドパーツは、形状が異なります。共用できませんのでご注意ください。

3 軒天換気材の取り付け

- 製品のビス打ち部に付属の取付ビスを使用し締めすぎに注意し、鼻隠し下地材に対し概ね60度方向に留め付けます。

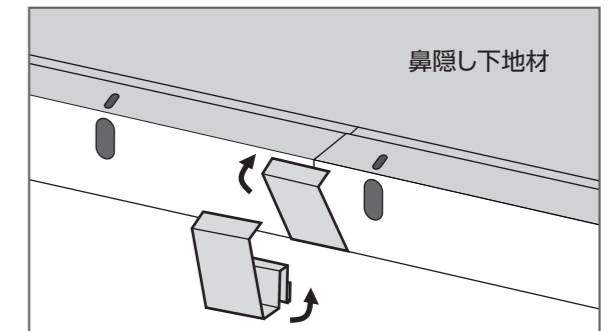
△注意

- ①製品の取り付けは鼻隠し下地材正面から留め付けとなるため、必ず外壁・鼻隠し化粧板施工前に完了するようにしてください。
- ②軒天換気材同士のジョイント部には、ジョイントカバー「品番:FV-N024FJC」を使用してください。



4 ジョイントカバーの取り付け

- 専用役物と軒天換気材の取り付け後、ジョイントカバーを取り付けます。
※上部が入りにくい場合は、近傍のビスを少し緩めてから差し込むとスムーズに施工できます。



5 鼻隠し(化粧板)および外装材の取り付け

- 鼻隠し(化粧板)を取り付けます。
※寸法取りは、水上側より行うとスムーズに施工できます。
- 外装材を取り付けます。
※軒天換気材と外装材との取り付け部分のコーキングは、状況に応じてご選択ください。